

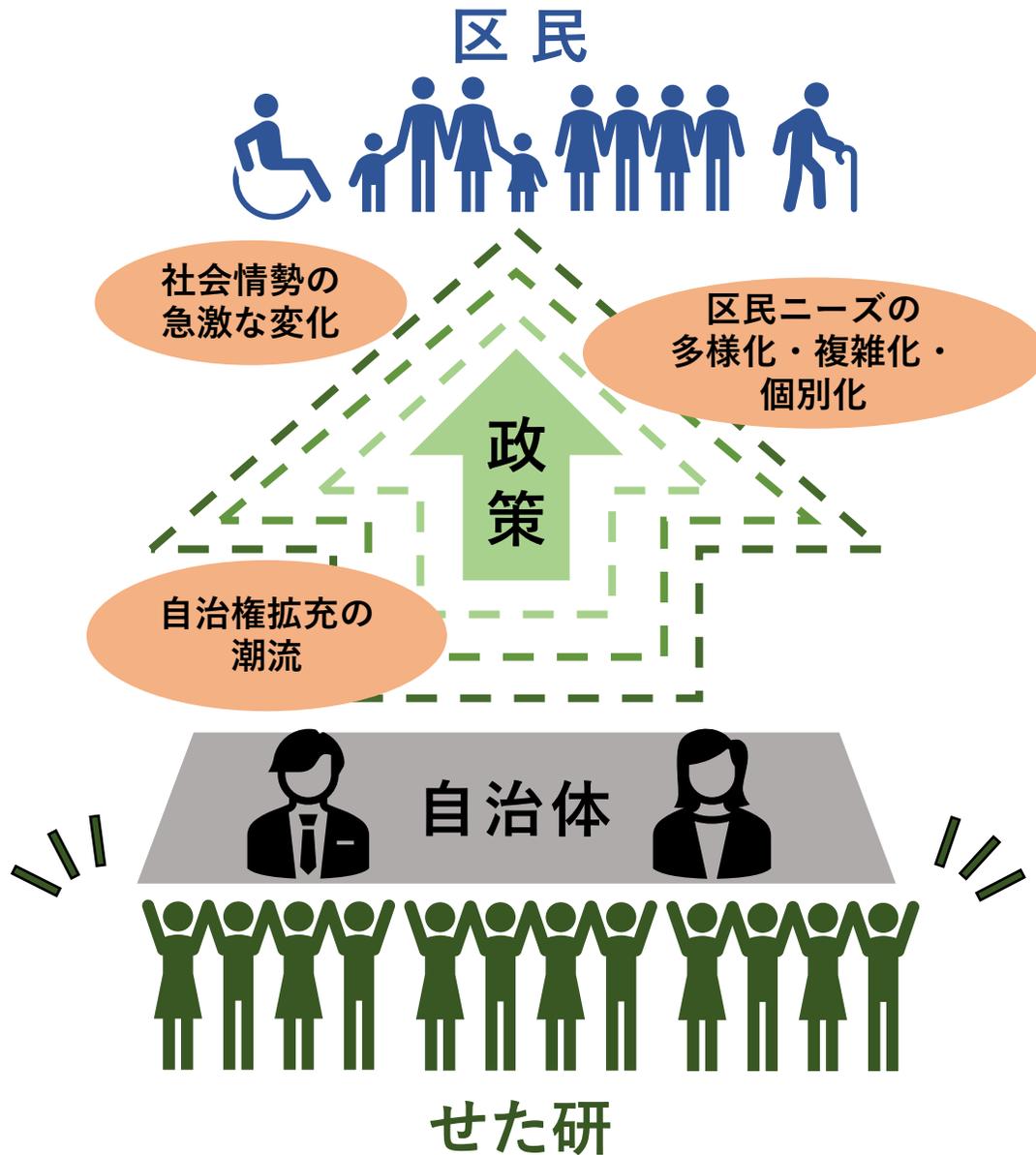
せたがや自治政策研究所 2か年計画

令和8(2026)年度～令和9(2027)年度



令和7年7月 せたがや自治政策研究所

せた研の存在理由



社会情勢の急激な変化による区民ニーズの多様化・複雑化・個別化や、地方分権一括法制定を機とした自治権拡充の潮流により、政策に求められる質や量が増大。

政策を形成する基盤を強化する必要がある。

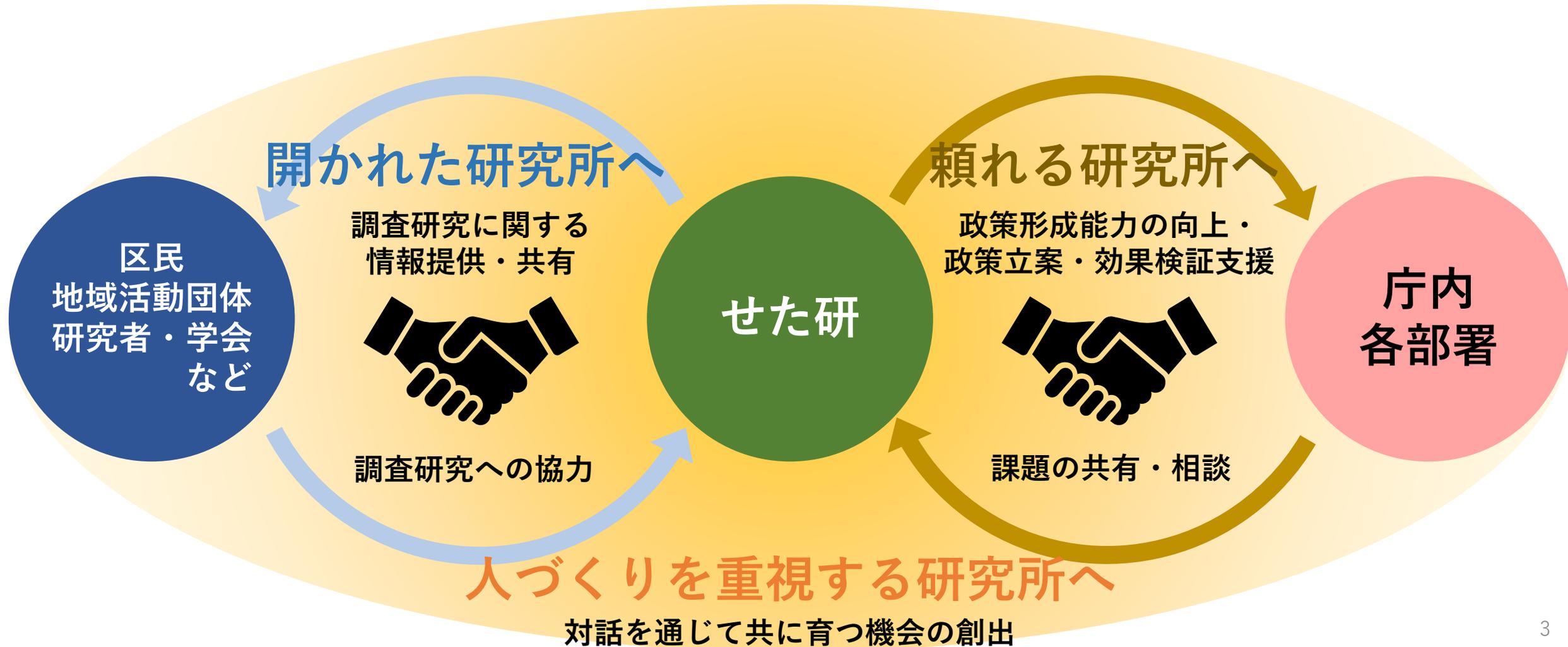
しかし、今までの政策が役立っているのか、これから考える政策が役に立つのか考えなければならない…

そこで、**政策の形成・検証を重点的に考える**ことができる**組織を作る**必要がある。

せたがや自治政策研究所の設置

せた研のビジョン

組織の枠にとらわれず、innovativeな視点・発想で新たな未来をつくる。



せた研のミッション

政策形成基盤の強化

…政策形成基盤とは？「政策を形成する」「基盤」と言葉を分解して考える。

政策形成過程	①問題発見	②課題設定	③政策立案	④政策決定	⑤政策実施	⑥政策評価
「基盤」 となる 要素	現状把握のための データ・調査	問題を深く見極める 分析の スキル	政策を立案するに あたって想定しうる リスクを洗い出す 想像力	決定に至る合意を 形成するための 意思疎通能力	政策を推進する マネジメント能力	効果測定のための 指標、データ
	高い質の調査をする ための調査設計の 方法	問題であるか判断する ための 情報・データ	最善、最適な政策で あることを説明する ための プレゼンカ	決定者以外に政策決定 の過程を 説明する力	現場の声を受け止める 傾聴力	政策の評価をする 機会
	誰が見てもデータを 理解し易くする スキル	問題から解決すべき 課題を設定する スキル	聞き手が納得できる 客観的な データ	⋮	政策の活動量を示す データ	評価の妥当性を 判断する能力
	区の実情を把握するた めに区民と対話できる 場・機会	解決すべき課題として 組織の合意を形成する 意思疎通能力	広く知見を得る 機会	⋮	政策を提供する 現場・機会	⋮

上記を集約した
政策形成基盤の
3要素

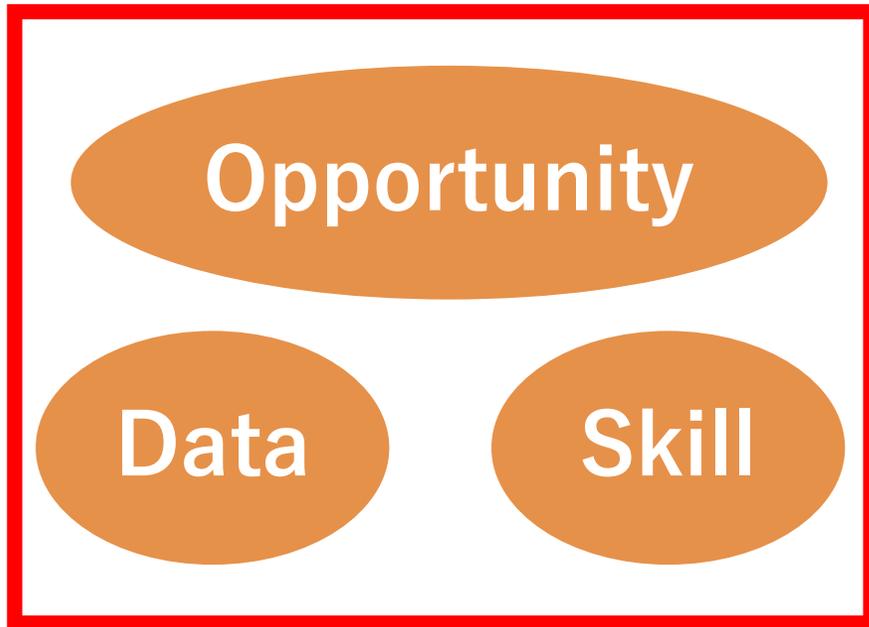
Data

Skill

Opportunity

せた研のミッション

政策形成基盤 3 要素



EBPMの
推進

×



=



これらの強化がミッションだが、基盤を運用するための政策形成モデルの一つであるEBPMも庁内に推進していく。

重点テーマ

- 
- ① 次期コミュニティ調査検討会
- ー地域コミュニティの実状把握に向けた次期調査の手法等の検討

- 
- ② データの整備と活用
- ー研究所をはじめとした庁内のデータ整備とその活用

- 
- ③ 人材育成
- ー庁内職員へのEBPMの推進並びにデータリテラシーの強化、統計知識の習得

プロジェクト概要①

プロジェクト	目的	2か年のテーマ	実施概要
New!! 次期コミュニティ 調査検討会	地域コミュニティの現状分析、地域行政推進計画の効果検証へ活用できるようなデータをつくり、分析する	次期地域コミュニティ調査の論点整理	<ul style="list-style-type: none">・地域コミュニティの歴史と変遷、機能・実態について・これまでの区の地域コミュニティ施策の検証・区民にとっての地域コミュニティの実態・行政と地域コミュニティのつながり方について
データの 「整備」と「活用」	区民と職員がともに取組む地域づくりに役立つデータを収集・整備し、庁内外で活用できるようにする	<ul style="list-style-type: none">・データの「整備」 データの在りかの明確化と一元化・データの「活用」 データの扱い方の発信と扱える人の増加	<ul style="list-style-type: none">・研究所の保有データを一元化 →第1段階として庁内公開からスタート・庁内の調査・研究のデータベースの仕組み化 →データ取扱いのガバナンス体制の検討・ダッシュボード等を用いたデータ活用事例発信・職員のデータリテラシー強化のための研修・地域特性の析出・将来人口推計(令和9年実施予定)

プロジェクト概要②

プロジェクト	目的	2か年のテーマ	実施概要
<p>New!!</p> <p>未来を創る 行政職員の 人材育成</p>	<p>全庁的に政策形成能力を向上すべく、EBPMの推進とデータリテラシーを強化する</p>	<ul style="list-style-type: none">・EBPMの推進&データリテラシーの強化・互学互修の場の創出	<ul style="list-style-type: none">・せたがや版データアカデミーの開催 →EBPMを中心とした政策形成手法の習得・せた研ゼミの開催 →職員同士と研究成果等を共有・議論できる場・研究員の育成 →必要なスキルの明確化とカリキュラムの構築
<p>自治制度研究</p>	<p>区民に最も身近な基礎的自治体として、人口規模にふさわしい自治のあり方を研究する</p>	<ul style="list-style-type: none">・職員の自治制度への理解の促進・今後の自治権拡充を見据えた研究	<ul style="list-style-type: none">・児童相談所設置をテーマとした研究会の開催 →児童相談所設置に携わった職員のヒアリング →他の自治体との比較・庁内職員に向けた自治制度に関する啓発 →自治制度の理解を深めるための場を提供

研究所運営事業	内容
会議運営	運営会議、所内会議、懇談会、研究報告会の運営
都市社会研究	編集委員会の運営、編集、印刷、発行
区民セミナー	当該年度の調査研究内容からテーマを決めて実施
せた研ゼミ	年4回程度実施
情報収集・渉外	学会、自治体シンクタンク交流会等への参加
研究所広報	せたがや自治政策、Newsletter、区ホームページによる情報発信